

平成31年度(令和元年度)事業計画について

1. 基本方針

- ①ニュービジネス（経済社会の強いニーズから生まれるビジネスモデル自体に新規性を内包した、これまでにないビジネス）の創出・育成
- ②ベンチャー企業及びベンチャー指向の中小企業・小規模企業への支援
- ③会員満足度の向上及び新規会員の加入促進
- ④地域委員会の活性化
- ⑤九州経済産業局、中小企業基盤整備機構、各県・政令市及び産業支援機関等とのネットワーク構築及び連携・協力による各事業の広域的展開

一般社団法人九州ニュービジネス協議会（以下「九州NBC」という。）は、ニュービジネスの創出・育成を目的として昭和62年11月に設立され、平成29年11月に設立30年を迎えました。

この間、創業検討段階での起業家教育や起業支援については、民間や国、地方公共団体、各種団体が参画したことにより、多様な主体による重層的な支援が行われています。

また、近年、我が国の経済・社会構造も、第4次産業革命により、AI、IoT、ロボット技術が進展し、例えばこうした技術を活用し業種を超えたサービスとの連動が拡大する等、大きく変化しました。

このような中で、九州NBCとしては、上記に掲げる基本方針の下、経済・社会構造の変化に応じた事業活動を展開して参ります。

具体的には、平成31年度の重点事項として、①AI、IoT、ロボット技術の利用・サービスとの連動によるビジネスモデルの変革等ニュービジネスに関する勉強会の開催等による会員企業のイノベーションの創出、②国際交流事業の実施により会員企業等と外国企業間の相互理解を促進し具体的な海外ビジネス連携事例の創出、③経営者・次世代経営者（後継者）等を対象とした人材育成教育の実施による会員企業等の更なる成長、それに加えてこれらの事業を推進するための運営体制の見直しを行います。

2. 委員会の自主的な事業運営の推進

会員ニーズにあった魅力的な事業を行うためには、各委員会において、会員ニーズの把握に努め、これを踏まえ、各々の課題解決のための方策を検討・実施するとともに、先進事例の紹介・講演会・視察・研究会等を実施する必要があります。

平成31年度は、委員会毎に担当副会長を配置している東京ニュービジネス協議会の事業運営等を参考としつつ、事務局と各委員会が協働して委員会の自主的な事業運営のあり方について検討を行うこととします。

3. 事業活動計画

九州NBCは、現在、6委員会1事業において様々な活動を行ってきておりますが、事業をより円滑かつ迅速に推進していくことを目的に、別紙1「委員会の見直し（案）」のとおり、担当副会長制を導入するとともに、調査研究と国際交流の二つの事業を所掌するニュービジネス調査研究委員会、及びニュービジネス支援と人材育成の二つの事業を所掌するニュービジネス支援委員会を分割します。

4. 各委員会の主な事業活動計画

(1) ニュービジネス調査研究委員会 (担当副会長：佐藤尚文、委員長：佐藤隆)

【一般向け事業（公益目的事業）】

①九州NBCオープンセミナー

講演会、視察、現地調査等の多彩なセミナー・研究会・勉強会を通じてニュービジネスの創出・啓発を図り、人的ネットワーク構築を目指す交流会・勉強会等を実施します。

【平成31年度の主な事業】

- ・平成31年度は、AI、IoT、ロボット技術の利用・サービスとの連動によるビジネスモデルの変革等ニュービジネスに関する交流会・勉強会等を年4回程度開催します。

②海外視察・国内視察

広い視野を培うため、ニュービジネスに関するテーマを持って視察を行います。

【平成31年度の主な事業】

- ・海外視察は「香港・深圳・マカオ」を訪問し、中国におけるAI・IR産業の最新導入事例などを研究します。平成31年7月予定
- ・国内視察はJNB全国大会（平成31年10月24日 高松市にて開催予定）に参加します。

(2) 国際交流委員会 (担当副会長：今井千恵、委員長：池内比呂子)

①国際交流事業（ベンチャープラザ in 台湾）

競争力のある優れた製品・技術を持つ中小企業等と大陸や東南アジア等の地域に流通ルートを持つ台湾企業との連携の場を提供します。

【平成31年度の主な事業】

- ・中華民国三三企業交流会、台日商務交流協進会、九州NBCの共催事業として、平成31年12月4日（水）に台北市において実施します。

(3) ニュービジネス支援委員会 (担当副会長：白川祐治、委員長：古賀光雄)

①九州ニュービジネス大賞

優秀なベンチャー企業（起業家）を表彰し、起業家の意識向上を図ります。

【平成31年度の主な事業】

- ・第16回九州ニュービジネス大賞（総会開催時に表彰）を実施いたします。

②ベンチャープラザ「二月会」

ベンチャー企業と大企業とのマッチング、支援のため、ベンチャー企業によるプレゼンテーションの場を提供します。

【平成31年度の主な事業】

- ・平成31年度は、4回程度実施いたします。

③九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト

九州NBCは、九州地域の大学等に眠っているシーズの発掘、起業家の育成を目的として、九州経済産業局、福岡市、九州経済連合会、中小企業基盤整備機構九州本部、日刊工業新聞社西部支社、九州地域産業活性化センターとの共催事業として、九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテストを実施しています。

【平成31年度の主な事業】

- ・九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテストを、平成31年度12月に開催いたします。

(4) 人材育成委員会 (担当副会長：矢頭美世子、委員長：廣田稔)

①女性起業家塾

創業間もない女性起業家等を対象に、女性経営者が経営のノウハウをアドバイスします。

【平成31年度の主な事業】

- ・平成31年度は、第八期女性起業家塾を開催いたします。

②未来創造経営塾

経営者、次世代経営者（後継者）等を対象とした、自社の次の成長のためのスクールを開催します。

【平成31年度の主な事業】

- ・未来創造経営塾については、平成30年度に30周年記念事業の一つとして実施いたしました。受講生等から継続して実施すべきという評価を得たため、平成31年度も、4月から11月の間で「2019未来創造経営塾」を開催いたします。

(5) ウーマンズ・フォーラム委員会 (委員長：藤嶋佳子)

①委員会 (例会)

ウーマンズ・フォーラム委員会が例会において開催する事業の企画・立案・実施をいたします。

【平成31年度の主な事業】

- ・女性経営者等がニュービジネスなどについての勉強等、例会を開催いたします。

②シンポジウム・講演会

女性経営者等の活躍推進のため、女性の立場に立ったシンポジウムや講演会を開催します。

【平成31年度の主な事業】

- ・平成32年2月にウーマンズ・フォーラム2020講演会を開催いたします。

③他地域との交流、他事業への参画

(6) 地域委員会 (佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島)

①ベンチャープラザ

くまもとベンチャーマーケット二火会、ベンチャープラザ 鹿児島二水会、ベンチャープラザ in 大分など各地域でベンチャー企業のプレゼンテーションの場を提供します。

【平成31年度の主な事業】

- ・くまもとベンチャーマーケット二火会の開催 (年3回程度)
- ・ベンチャープラザ 鹿児島二水会の開催 (年3回程度)
- ・ベンチャープラザ in 大分の開催 (年1回程度)
- ・佐賀、長崎についてはベンチャープラザ開催にむけての検討を行う

②自主活動

研究会、視察会、ウーマンズ・フォーラム委員会等との連携事業を行います。

(7) 企画運営委員会 (担当副会長・委員長：礒山誠二)

九州NBCの事業運営全般に関する活動を行います。

①総会、正副会長会議、理事会の開催

- ・役員・理事会等会議への積極的参加の推進
- ・理事および監事の各種事業への積極的参加の推進
- ・総会時に九州ニュービジネス大賞の表彰式、プレゼンを実施する。その後の交流会については受賞者や会員同士の交流の場として一層充実して実施するものとする。

②広報活動

- ・ホームページ、フェイスブックの情報発信力を強化し、イベント等の実施状況をタイムリーに発信する。
- ・メルマガを月2回配信する。

④九州経済産業局、各県、政令市、地方公共団体、中小企業基盤整備機構、産業支援機関、及び九州経済連合会、ひなの会等との連携

- ・交流の強化を図り、ニュービジネス創出のシナジー効果を高める。
- ・九州NBCからマッチングを望む企業を送り出して、九州・山口ベンチャーアワーズに繋げていくなど、九州・山口ベンチャーマーケットとの連携及び積極的参加を図る。
- ・フクオカベンチャーマーケット(FVM)を始めとする、各県支援事業との連携を図る。

⑤会員の交流の場の充実、各事業の広域的展開等

⑥九州NBC新年祝賀会

⑦会長杯ゴルフコンペ(年1回程度)

(8) 会員拡大推進委員会 (担当副会長・委員長：道永幸典)

九州NBC活動の「質と量」を向上し魅力ある事業推進、地域経済活性化に貢献していくため会員拡大に努めます。

特に、ものづくりのメッカたる北九州にはニュービジネスのポテンシャルが大いに存在していることから、北九州地区の会員による「北九州地域委員会設立準備委員会」を立ち上げ、北九州地域委員会の設立に向けた準備を整えます。(平成31年度中の地域委員会設立を目指す)

①各地域委員会との連携

- ・地域委員会との連携を強化しつつ会員の拡大を図る。
(地域委員会活動の一環として各地域の有力メンバーの入会促進)
- ・地域委員会の活動に対し積極的な提案を行う。

②各事業との連携による入会促進

③会員拡大推進

- ・役員・事務局一体となった入会促進を図る。
- ・地域委員会活動を通じての入会促進を図る。
- ・退会申し出者に対してフォローする。

④九州ニュービジネス大賞受賞者への入会アプローチ強化

⑤大学の入会促進等

(9) 日本ニュービジネス協議会連合会（JNB）関係

事業項目	具体的内容
① JNB各種会議 <ul style="list-style-type: none"> ・全国会長会議 ・定時総会（年1回） ・理事会（年3回） ・全国事務局会議（年1回） ・全国フォーラム（高松市） ・賀詞交歓会（東京） 	<実施予定日> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月11日、10月24日、3月上旬 ・ 6月11日 ・ 6月11日、10月24日、3月上旬 ・ 7月26日 ・ 10月24日（ニッポン新事業創出大賞） ・ 平成32年1月中旬
② JNB事業との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員の広域ビジネス展開支援 ・ JNBセミナー等への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ JNBや各地域ニュービジネス協議会等とのネットワークを活用して、会員の広域ビジネス展開を支援する。 ・ 国家戦略やニュービジネスの最新情報の収集・発信 ・ JNBの海外視察の情報を収集し、必要に応じて連携を考慮する
③ 海外視察事業との連携・参画	

留意事項

平成31年度以降の事業計画については、公益目的支出計画に関して内閣府へ適時適切な届け出、場合によっては承認取り付けが事前に必要になってくる場合が十分想定されることに留意する

5. 事務局関係（主な取り組み）

(1) 各事業の開催コストの削減

・ 開催場所の見直しを図る等により各事業のコスト削減に努める。

(2) ホームページ・facebookによる広報力強化

・ ホームページ・facebookをタイムリーに更新することで、情報発信力強化に努める。

(3) 公益法人改革への取り組み

・ 公益目的支出計画の着実な実行推進に努める。

(4) 関係機関等との連携・協力

・ 関係機関等が開催する会合等へ参加するとともに、これらの機会を活用して当協議会の事業や会員拡大をPRする。

(5) 各種相談等への的確な対応

・ 九州経済産業局や中小企業基盤整備機構九州本部等、関係機関へのつなぎ、紹介等を行う。
 ・ 国の支援事業を活用しつつ、公認会計士、弁護士、弁理士及び技術士等の専門家との連携による相談機能の充実・強化を図る。

(6) 事務所業務環境の整備

・ 狭あいな事務所の環境整備に努める。（移転の検討を含む）

(7) 事務局の会員に対するサービスの一層の向上（電話、応接、相談等）

(ご参考)

継続事業 … [一般向け事業 (公益目的事業)]

継続事業1 … 講座・セミナー事業

九州NBCオープンセミナー (ニューサロン21、経営を学ぶ会を統合)

女性起業家塾 ウーマンズ・フォーラム講演会

継続事業2 … コンテスト事業

九州ニュービジネス大賞、九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト

継続事業3 … 育成事業

二月会等の各地域(福岡、熊本、鹿児島、大分)で開催するベンチャープラザ

共益事業 … [当協議会会員向けの事業]

ウーマンズ・フォーラム委員会月例会、会員交流事業

JNB (日本ニュービジネス協議会連合会) 全国大会、国内視察、海外視察

法人会計 … [継続事業・共益事業以外の事業]

(法人会計に含まれる事業)

通常総会、JNB委員会対応、会員拡大、

他機関連携、各地域委員会等

その他 … [継続事業・共益事業・法人会計以外の事業]

国際交流事業、未来創造経営塾